



ご紹介

アニメーション映画監督ジャッキー・ワン

ジャガー・ルクルトの「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムのもとで
行われる、
映画の起源を再解釈する新しい芸術的コラボレーション

概要：

- ・ **第七芸術にインスパイアされて：**現代のアニメーションと詩的象徴主義を通して「フェナキストスコープ」を再解釈し、映画の黎明期に輝いた火花を復活
- ・ **ジャッキー・ワン：**手描きアニメーションと感情のニュアンス、異文化間の奥深さ、洗練されたビジュアルストーリーテリングの融合で知られる中国のアニメーション映画監督との独占コラボレーション
- ・ **「時に惹かれて」：**ランデヴー コレクションへのオマージュとして、女性の強さと進化をユニークなストーリーで表現する、精巧に作られた5枚のディスクシリーズ

ジャガー・ルクルトは、上海で開催される「ドリーム・シェーパー」展で、「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムの最新の芸術的コラボレーションを紹介します。ジャガー・ルクルトのアイコン的なランデヴー コレクションにオマージュを捧げた幻想的な作品「時に惹かれて」は、中国のインディペンデント・アニメーション・ディレクター、ジャッキー・ワンの依頼によるもので、魅惑的な星のダンスと精密な機構によって、フェミニンなエレガンスとクラフツマンシップを体現しています。

クラシックアートの限界に挑戦

「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムは、ウォッチメイキングとアートの世界を結びつけ、創造性、専門性、精度というジャガー・ルクルトの価値観を共有するウォッチメイキング以外の分野のアーティスト、デザイナー、職人とのコラボレーションを促進しています。このプログラムでは、クラシックアートを変化のないもの、あるいは過去に縛られたものとして捉えるのではなく、その絶え間ない改革を強調し、今日の創造性を導き出す源泉として称えることに挑戦します。今日クラシックと呼ばれるものが発表当初は前衛的だと見なされていたのと同様、「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムでは、伝統的な形式や技法が、新しい素材やメディアによってどのように再構成されるかを探求し、過去と現在の対話に新たな視点を提供します。ジャガー・ルクルトの時計職人のように、アーティストたちは限界を押し広げ、新たな地平を開拓しながらも、創造性の基盤としての伝統を尊重し、ウォッチメイキングとクラシックアートの両方がいかに人間の創造性を表現し、時代の文化を反映して、感情を引き起こすかを浮き彫りにしています。



今日までに、「メイド・オブ・メーカーズ™」コミュニティには、アーティストのザイムーン（スイス）、マイケル・マーフィー（米国）、ギヨーム・マルマン（フランス）、レタリングアーティストのアレックス・トロシュート（スペイン/米国）、パティシエのニーナ・メタイエ（フランス）、ミクソロジスト（バーテンダー）のマティアス・ジルー（フランス）、デジタルメディアアーティストのイーユン・カン（韓国）、ミュージシャンの TØKIO M¥ERS（英国）、マルチメディアアーティストのブレンディ・ワイディングガー（米国）、シェフのヒマンシュ・サイニ（インド）、ストリートライトペインターのロイ・ワン（中国）、調香師のニコラ・ボンヌヴィル（フランス）、デザイナーのハリド・シャファール（UAE）、シェフ・ショコラティエのマチュー・ダヴォワヌ（フランス/スイス）が登場し、現代ビジュアルアート、ガストロノミー、音楽、香水の世界を展開してきました。今回、アニメーション映画監督のジャッキー・ワン（中国）との新たなコラボレーションにより、「メイド・オブ・メーカーズ™」のポートフォリオにアニメーション作品が加わりました。

アニメーション映画監督

ジャガー・ルクルトは、アニメーション映画監督ジャッキー・ワンとのコラボレーションにより、ゲストを魅惑的なビジュアルの旅へと誘います。中国の中央美術学院とロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートを卒業し、北京を拠点に活動するジャッキー・ワンは、伝統的な手描きの技法と現代的なストーリーテリングを見事に融合させ、東洋と西洋を混ぜ合わせた独自の視点と、独特な女性的感性から、流れるような筆さばきと極めて優美なパレットで、儂い感情を表現します。彼女の作品は現実とファンタジーが交差する位置にあり、視覚的なインパクトと感情的な深みを併せ持つ物語を生み出します。

ジャッキー・ワンにとって、アニメーションは単なるメディアではなく、記憶と想像力の境界線を曖昧にする、ボーダーラインを越えた言語なのです。「アニメーションは、目に見えないもの、繊細なもの、変幻自在なものを探求させてくれます。ジャガー・ルクルトから映画の起源を再考する誘いを受けた時、私は映画の火付け役である『フェナキストスコープ』に新たな命を吹き込む機会を得ました」と彼女は語ります。

グランド・メゾンのためだけに制作された作品にはジャッキー・ワンのシグネチャースタイルが凝縮され、運動の芸術の限界に挑戦することで、クラシカルな第七芸術を刷新します。

「時に惹かれて」

「時に惹かれて」では、ジャッキー・ワンが、現代アニメーションと詩的象徴主義のレンズを通して、映画の黎明期に輝いた「フェナキストスコープ」を再構築します。映画の起源となった円形のイリュージョンにインスパイアされた彼女は、手描きのフォルムに催眠術のような振り付けを施し、動きによってのみ命を吹き込みます。飛翔する鳥、月、太陽、咲き誇る花々が天空で舞い、自由、再生、輝きを象徴するタイムレスなシンボルを表現。彼女のアニメーションは視覚的なものだけではなく、触覚でも訴えます。マザー・オブ・パール reflects from Gioè to an inspiration that she has drawn from



至るまで、ウォッチメイキングに影響を与える質感で作られたこの作品は、伝統的なクラフツマンシップとデジタルイマジネーションとの架け橋となっています。「時に惹かれて」は、原点へのオマージュというよりも、どのように芸術が動き、感情が循環し、動きの中で美が生まれるのかを表現した、時間そのものへの瞑想です。

ジャッキー・ワンの作品は、複雑にデザインされた 5 枚の「フェナキストスコープ」ディスクで構成され、それぞれが女性の強さと進化を独自の芸術的なストーリーで表現しています。

エンカウンター：ピオニーが鳥に変身して飛び立つ様子は、女性の解放と再生を象徴しています。流れ星と月の満ち欠けが織りなす星空を背景に、思いがけない瞬間の無限の可能性を映し出します。

創造の手：女性の手のひらからはじける流れ星。何世代にもわたって受け継がれてきた伝統的なクラフツマンシップを体現しています。ジャガー・ルクルトのギョーシェ彫りと呼応するデザインは、精密さと芸術性を讃えています。

調和する秩序：歯車と星座が絡み合い、合理性と創造性の調和を表現しています。トランペットを通して視覚化された女性の歌声は、自信と気品を歌い上げます。

タイムレスなシェル：女性一人ひとりの旅路のように唯一無二のマザー・オブ・パール ダイアルは、女性らしさの繊細さと回復力を表現しています。

永遠に咲く花々：いつまでも咲き誇るゴールドのピオニーは、永遠の生命力を体現しながらランデヴー コレクションに敬意を表します。

各ディスクは毎秒 75%回転し、動きのあるイリュージョンを生み出します。インスタレーションは静的な状態と動的な状態を交互に繰り返し、時間と形の変容を見るよう観客を誘います。「時に惹かれて」は、数百年続くクラフツマンシップと現代アニメーションの両方を取り入れた伝統と革新の錬金術を目の当たりにしていただくための招待状です。

ジャガー・ルクルトの最高経営責任者、ジェローム・ランベールは次のように語ります。「ジャッキー・ワンの才能、専門知識、そして彼女の詩的な視点は、私たちの『メイド・オブ・メーカーズ™』プログラムに、新しくエキサイティングな側面を加えます。彼女の作品は見事な繊細さを示し、ランデヴー コレクションに象徴される女性らしい力強さと完璧な調和を生み出しています。ジャガー・ルクルトは、さまざまな分野のクラフツマンシップが融合できることを強く信じています。ジャッキー・ワンのようなアーティストとコラボレーションをすることで、運動の芸術とウォッチメイキングが交錯する未知の領域を探求することができるのです。」



ジャッキー・ワンについて

中央美術学院（学士）、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（修士）卒業後、独立し、2022 年にジャッキー・スタジオを設立。現代アニメーション界の新進気鋭アーティストである彼女のアニメーション作品は、流れるような線とぼんやりとした色彩のブロックで、儚く繊細な感情を見事に表現します。現実とファンタジーが交差する場所で、不思議な出会いを魅惑的な物語として紡ぎ、見る人の心に深く響く力強い作品を生み出しています。ポルトガルの MONSTRA アニメーション映画祭で最優秀アニメーション賞を受賞したほか、権威あるウィーン・ショートショート・ウインター・カーニバルへ正式出展され歴史的なオーストリア市庁舎で上映されるなど、彼女の作品は国際的に高い評価を得ています。

「メイド・オブ・メーカーズ™」について

「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムは、ウォッチメイキング以外のさまざまな分野のアーティスト、デザイナー、職人たちのコミュニティを一つにまとめます。ウォッチメイキングとアートの間には存在する対話を拡大するこのプログラムは、創造性、専門性、精度といったジャガー・ルクルトを常に定義してきた基本原則を土台としています。このプログラムは、ジャガー・ルクルトの価値を共有し、さまざまに異なる、時には予期せぬ素材や媒体を通じて、表現の新しい形を探索する作品作りをしているワールドクラスのクリエイターたちにフォーカスしています。毎年、ジャガー・ルクルトが世界各地で開催する展覧会に、プログラムを通じて制作された新作が登場し、選ばれたテーマを発展させ、観客がアートや技巧、デザインに関する幅広い話題に加わる新しい機会を作り出します。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュールは、1,400 を超えるキャリアの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニュファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。
